【FOLFIRI＋Pmab療法について】

（5-FU＋レボホリナート＋イリノテカン＋ベクティビックス）

ID: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様　　1　コース目

お薬の名前と治療のスケジュール

（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目
アロカリス注 パロノセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・吐き気止め	30分	●														●														●
ベクティビックス注	分子標的薬	1時間	●														●														●
イリノテカン注	抗がん剤	1時間30分	●	同時に点滴開始													●	同時に点滴開始													●
レボホリナート注	5-FUの効果を強める薬	2時間	●														●														●
5-FU注	抗がん剤	15分	●														●														●
5-FU注（持続）	抗がん剤	46時間	←●→														←●→														←●

治療による副作用

■ :注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1日目
自覚症状	アレルギー様症状	■														■														■
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	食欲不振・吐き気	■	■	■												■	■	■												■
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	口内炎			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																												
	下痢	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■
		便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
	色素沈着														■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																												
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）														■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
	皮膚症状（皮疹、乾燥、爪囲炎など）								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。爪の周りに腫れや痛みが出ることがあります。																												
検査値	白血球減少											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		貧血の症状（動作時の息切れ、動悸）がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部